



たらぎ 議会だより

こだま



P2 我が町の家計簿を審議決定（平成24年度予算）

P4 火葬場存続請願を不採択

P5 3つの公共施設を民間へ

P6 8議員が町政を問う

P12 多良木町を担う未来の議員（こども議会）



平成24年
3月定例議会

No.85

私たちの望むものは!!
(多小6年生)

(ブルートレインたらぎ・交流館石倉・えびすの湯)

インフォステーション” (代表者・小池清文氏)に指定
 その他の団体を指定し、その管理権限を代行させる制度)

平成24年度 一般会計

(歳出の主なもの)

一般会計

総額 61億6千7百万円

前年度比
3.9%増

平成24年度第1回定例会は、3月8日から19日までの12日間開催され、条例等13件、23年度補正予算6件、24年度当初予算7件、選任同意等4件が提案され、慎重に審議した結果、原案どおり可決・同意しました。
 一般質問には8名が登壇し、町長の考えを質しました。

1. 光ブロードバンド整備事業補助 ---- 3億2,000万円
2. 黒肥地小学校屋内運動場改築事業 ---- 2億975万円



現在の黒肥地小学校体育館

3. 多良木町緊急地域経済対策事業(住宅リフォーム)
----- 1,000万円
4. 造林事業 ----- 8,970万円
5. 町道湯原線整備事業 ----- 5,690万円
6. 町道永原線整備事業 ----- 5,420万円
7. 社会資本整備総合交付金道路事業 ----- 6,350万円
8. 学童クラブ施設建設事業(久米学童クラブ)
----- 3,081万円
9. 町営住宅小林第2団地建設事業 ----- 6,603万円



造成が進む
小林第2団地

三つの公共施設を民間へ！

公の施設における指定管理者を“たらぎ”
（*指定管理者制度：地方公共団体の公の施設において、民間法人

平成23年度補正予算

一般会計

9,157万円を追加し、総額64億6,587万円
《主なもの》

※ 緑の産業再生プロジェクト促進事業補助
----- 1億9,480万円

国民健康保険
4,372万円を減額し、総額14億5,402万円

久米財産区
281万円を減額し、総額1,575万円

下水道事業
90万円を減額し、総額4億4,904万円

介護保険
1億6,170万円減額し、総額12億6,922万円

平成24年度予算

特別会計

国民健康保険 ----- 14億5,235万円
久米財産区 ----- 1,088万円
下水道事業 ----- 5億2,546万円
介護保険 ----- 12億716万円
後期高齢者医療 ----- 1億3,155万円

上水道事業会計

水道事業費用 ----- 1億6,449万円
資本的支出 ----- 1億926万円



人権擁護委員推薦

【新推薦】
松本 喜久子氏
(多良木)

竹下和子委員が平成24年6月30日をもって任期満了となるため推薦されました。



人権擁護委員推薦

【新推薦】
溝口 一美氏
(久米)

養茂義量委員が平成24年6月30日をもって任期満了となるため推薦されました。



人権擁護委員推薦

【再推薦】
那須 律子氏
(多良木)

同氏が平成24年6月30日をもって任期満了となるため再推薦されました。
平成21年に就任し、今回で2期目となります。



固定資産評価審査委員選任

【再任】
沖田 貞美氏
(多良木)

同氏が平成24年3月31日をもって任期満了となるため再任されました。
平成21年に就任し、今回で2期目となります。

平成24年第1回多良木町議会定例会が3月8日から19日の会期で開かれ、条例等平成23年度補正予算、平成24年度当初予算、選任同意、一部事務組合議会議員の選出、委員長報告等が審議されました。

第1回町議会で審議された議案

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
議案第14号	平成23年度多良木町一般会計補正予算(第4号)	平成24年3月8日	原案可決
議案第15号	平成23年度多良木町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	平成24年3月8日	原案可決
議案第16号	平成23年度久米財産区特別会計補正予算(第2号)	平成24年3月8日	原案可決
議案第17号	平成23年度多良木町上水道事業会計補正予算(第2号)	平成24年3月8日	原案可決
議案第18号	平成23年度多良木町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	平成24年3月8日	原案可決
議案第19号	平成23年度多良木町介護保険特別会計補正予算(第3号)	平成24年3月8日	原案可決
議案第1号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画を定めることについて	平成24年3月14日	原案可決
議案第2号	多良木町公の施設における指定管理者の指定について	平成24年3月14日	原案可決
議案第3号	多良木町まちづくり推進委員会設置条例の一部を改正する条例を定めることについて	平成24年3月14日	原案可決
議案第4号	多良木町報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	平成24年3月14日	原案可決
議案第5号	財産の交換譲与無償貸与等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	平成24年3月14日	原案可決
議案第6号	多良木町税条例の一部を改正する条例を定めることについて	平成24年3月14日	原案可決
議案第7号	多良木町立多良木学園設置条例の一部を改正する条例を定めることについて	平成24年3月14日	原案可決
議案第8号	多良木町介護保険条例の一部を改正する条例を定めることについて	平成24年3月14日	原案可決
議案第9号	多良木町営住宅条例の一部を改正する条例を定めることについて	平成24年3月14日	原案可決
議案第10号	多良木町下水道条例の一部を改正する条例を定めることについて	平成24年3月14日	原案可決
議案第11号	多良木町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	平成24年3月14日	原案可決
議案第12号	多良木町上水道事業給水条例の一部を改正する条例を定めることについて	平成24年3月14日	原案可決
議案第13号	多良木町世代間交流グラウンド設置及び管理条例を定めることについて	平成24年3月14日	原案可決
議案第20号	平成24年度多良木町一般会計予算	平成24年3月14日	原案可決
議案第21号	平成24年度多良木町国民健康保険特別会計予算	平成24年3月14日	原案可決
議案第22号	平成24年度久米財産区特別会計予算	平成24年3月14日	原案可決
議案第23号	平成24年度多良木町上水道事業会計予算	平成24年3月14日	原案可決
議案第24号	平成24年度多良木町下水道事業特別会計予算	平成24年3月14日	原案可決
議案第25号	平成24年度多良木町介護保険特別会計予算	平成24年3月14日	原案可決
議案第26号	平成24年度多良木町後期高齢者医療特別会計予算	平成24年3月14日	原案可決
同意第1号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	平成24年3月19日	原案同意
諮問第1号	人権擁護委員の推薦について	平成24年3月19日	原案可決
諮問第2号	人権擁護委員の推薦について	平成24年3月19日	原案可決
諮問第3号	人権擁護委員の推薦について	平成24年3月19日	原案可決
	球磨郡公立多良木病院企業団議会議員の選出について	平成24年3月19日	原案可決
	川辺川総合土地改良事業組合議会議員の選出について	平成24年3月19日	原案可決
	人吉球磨広域行政組合議会議員の選出について	平成24年3月19日	原案可決
平成23年陳情第2号	郵政改革法案の早期成立を求める陳情書	平成24年3月19日	原案採択
平成23年陳情第7号	公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める陳情	平成24年3月19日	原案採択
平成24年諮問第2号	多良木火葬場存続に関する諮問	平成24年3月19日	原案不採択
発議第1号	議会の議決すべき事件に関する条例を定めることについて	平成24年3月19日	原案可決
発議第2号	郵政改革法案の早期成立を求める意見書の提出について	平成24年3月19日	原案可決
発議第3号	老齢基礎年金等の年金額の特例水準(2.5%)の解消反対を求める意見書の提出について	平成24年3月19日	原案可決
	多良木町議会議員の派遣について	平成24年3月19日	可決
	委員会の閉会中の継続審査申出について	平成24年3月19日	可決
	常任委員会の閉会中の所管事務調査申出について	平成24年3月19日	可決
	議会運営委員会の閉会中の所管事務調査申出について	平成24年3月19日	可決

◆ 賛否が分かれた案件

議員名(議席番号順) ☆:賛成 ★:反対

議案名	2 瀬 崎 哲 弘	3 森 下 孝 幸	4 中 村 正 徳	5 久 保 田 悦 子	6 坂 本 一 郎	7 坂 口 幸 法	8 山 中 馨	10 吉 瀬 浩 一郎	11 魚 住 憲 一	12 村 山 昇	13 皆 越 秋 廣	14 高 橋 裕 子
多良木町公の施設における指定管理者の指定について	★	☆	★	★	☆	☆	☆	☆	★	★	☆	☆
多良木火葬場存続に関する諮問	★	★	☆	☆	★	★	★	☆	☆	☆	★	★

※ 議長は議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決(賛成、反対の意思表示)権はありません。

※ 多良木火葬場存続に関する請願

1 厚生文教常任委員会における審議結果

多良木火葬場は、昭和52年度に建設され、平成22年度で33年が経過し、老朽化の進行により多額の修繕料が必要となり、多良木火葬場を建設した業者の廃業により部品の確保も困難な状況にある。それに伴い、執行部で葬斎場統合問題検討会、行政座談会等により協議がなされ、平成24年10月1日を時期として、町長は免田葬斎場への統合を決断された。その決断に反対する多良木火葬場存続に関する請願であるが、請願者の意向としては、アンケート等により住民の考えを広く集約し、財政面のみでなく、住民の意思による決断を、という考えと共に、結論として本町に火葬場を残して欲しいというものである。

現実問題として、本町単独で火葬場建設を行った場合、一般財源での建設となり、ランニングコストもかかるため多額の予算が必要となる。

しかし、請願にもあるように、多良木町から多くの公共機関や会社が撤退した現在、更なる多良木火葬場の移転は町の衰退に繋がるとの住民意思はもともと重要な決断要因の一つと考える。2,790名の署名者は、平成24年2月1日現在人口の25.9%を占めており、民意と判断出来るとの結論に至ったので、採択とする。

少数意見報告

厚生文教常任委員 皆 越 秋 廣
賛成者 瀬 崎 哲 弘

1 請願第2号 多良木火葬場存続に関する請願

2 意見の要旨

- (1) 平成元年6月20日の多良木町議会全員協議会から始まった「人吉球磨広域組合で多良木火葬場を管理するに至った経緯」を踏まえ、私達、議会の先輩達的意思、決断を重く受け止め尊重すべきである。
- (2) 近年の国の厳しい財政問題や地域経済も例外なく、慢性的な冷え込み状態にあり、更に年金支給率の減額等、私達の生活は著しくおびやかされている。また、本町においては町税収入や国、県からの交付税、補助金の減額等、経営に関わる財政面の心配がされる。
- (3) 盆地の中は一つという考えのもと、人吉球磨圏内で共同利用出来るものは利用することにより、多良木火葬場建設に要する経費と免田葬斎場加入に要する経費の差額をこれからの町民の暮らしで求められる、更に有効な施設や運用に充てられることを期待するものである。

〈 審 議 討 論 〉

(請願の採択賛成)

吉瀬浩一郎・久保田悦子

(請願の採択反対)

坂口幸法・高橋裕子

よって本請願は採択すべきではないとの意見に達したものである。

3つの公共施設を民間へ

多良木町都市農山村交流施設(ブルートレイン)・多良木町えびす広場(含む交流館石倉)
多良木町ふれあい交流センターえびすの湯

多良木町では、公の施設の設置の目的を効果的に達成するため、各条例に基づき管理運営に関する業務を行う指定管理者を募集し、たらぎインフォステーション(代表者・小池清文氏)に決定しました。

〔指定管理者が行う業務〕

簡易宿泊施設

- ・ 宿泊施設及び備品の維持管理に関する業務
- ・ 宿泊施設の利用に関する業務
- ・ 都市と農山村の交流及び地域農林業等情報発信に関する業務
- ・ 町内の観光、特産品等の情報発信及び販売促進に関する業務
- ・ くま川鉄道多良木駅に関する業務
- ・ 上記に掲げるもののほか、その業務を達成するために町長が必要と認める業務

交流館石倉

- ・ 交流館石倉の施設及び設備の維持管理に関すること
- ・ 交流館石倉の利用許可に関すること
- ・ 交流館石倉の利用料金に関すること
- ・ 上記に掲げるもののほか、その業務を達成するために町長が必要と認める業務

えびすの湯

- ・ 使用者のニーズに応じた憩いの場及び必要な便宜の提供(食事の提供を含む。)
- ・ 入浴、休養、健康増進等センターの総合的利用に資する事業
- ・ 上記に掲げるもののほか、その業務を達成するために町長が必要と認める業務



えびすの湯

8人が町政を問う

～ 全ての質問事項 ～



中村正徳議員

質問 少子化傾向が続く中、本町においても出生者数が減少してきている。校区別児童数

1. 中村正徳議員 (6ページ)

- ① 本町における将来推計について
- ② 上下水道事業について
- ③ 財政計画について
- ④ 児童数の推計について
- ⑤ 農林業振興策について

2. 吉瀬浩一郎議員 (7ページ)

- ① 火葬場存続の可能性について

3. 皆越秋廣議員 (8ページ)

- ① 農業の振興について
- ② 林業の振興について

4. 久保田悦子議員 (8ページ)

- ① 中学校の武道必修化について
- ② 住宅リフォーム助成制度について
- ③ 公立保育所をどう守るか
- ④ 川辺川土地改良事業について

5. 高橋裕子議員 (9ページ)

- ① 多良木町総合開発計画の基本構想について
- ② 施設の公設民営化について
- ③ 社会教育の方向について
- ④ 学校教育について
- ⑤ 介護予防事業について

6. 山中馨議員 (10ページ)

- ① ゴミについて
- ② 地籍調査について
- ③ 介護事業について
- ④ 世代間交流施設について
- ⑤ 財政について

7. 瀬崎哲弘議員 (11ページ)

- ① 計画されている光ケーブル、ブロードバンドの取り組みについて
- ② 昨年11月の防災実動訓練から得た収穫は
- ③ 総合型地域スポーツクラブ「あいあいスポーツクラブたらぎ」の現況と今後の在り方は
- ④ 地域公共交通の体系づくりについて
- ⑤ 指定管理者導入について

8. 村山昇議員 (11ページ)

- ① 町民総意によるまちづくりについて
- ② 川辺川土地改良事業について

Q 将来推計について

A 若い世代のための環境整備

をみると、極端に久米校区が少なく、その原因と対策について伺いたい。

宮本教育振興課長

原因としては、若い世

代の減少、出生者数の減少、それと多良木小学校に近い久米5区・6区地域の校区変更等

があると思われる。対策としては、若い世代

Q 火葬場移転は住民の負担増、経済的損失、町の衰退に直結

A 財政面など、総合的に判断すれば免田火葬場加入が適当

質問 火葬場新設を借金と考えるのではなく、町の財産と考えるべき。

今回の署名の意味は、重要な事業を遂行する場合は住民の希望を尊重

すべし」という切実な意思表示であり、「町長が必ずしも本質的に正しい答えを選択をするわけではない」という政治に対する根底的

な問いかけである。

町長 一月という短い期間に3千人もの署名が集まった。署名活動の大変さも容易に思い

浮かべることができる。

の定住を図る政策、住宅の供給など、環境整備を進め、児童の減少に歯止めをかけるということを考えている。

町長 若い世代の定住を進めるための住宅の建設と、優先入居等少子化対策、児童数の減少に歯止めをかけるためにも、何かやっつけなければと考えている。

Q 農林業の振興対策について

A アンテナショップ等連携を検討

質問 農業の6次産業

化が推進されているが、新規に個人等で取り組まれる場合の受け皿はあるのか。また林産品の6次産業の取り組みについては、現在どのように成されているか伺いたい。

り組みがなされ、町の

組んでいる。

特産品としての販売を

町長 アンテナショップ

目的とされている。また農事組合法人「多良木のびる」は、農産物加工品として現在11品目くらい生産販売されている。今後もアンテナショップの取り組みと合わせ、農産物の販売拡大を考えている。林産物で商品化されているのは、椎茸と筍の乾物、今後はゼンマイも推進したい。現在、

松崎農林課長 農産物生産加工者が約20名、各加工施設を持って生産し、物産館等で販売されている。また農業女性の会は、家庭の加工品の掘り起こしの取

り組みがなされ、町の特産品としての販売を目的とされている。また農事組合法人「多良木のびる」は、農産物加工品として現在11品目くらい生産販売されている。今後もアンテナショップの取り組みと合わせ、農産物の販売拡大を考えている。林産物で商品化されているのは、椎茸と筍の乾物、今後はゼンマイも推進したい。現在、



多良木物産品

住民の意見を無視してはいない。議会にはこれまで何度か説明をしてきている。私は議会が住民の代表であると思っている。

質問 住民の意向を探

りつつ町長自身の考えとの折り合い地点を模索し、最良の方法を選択するという政治手法に基づいて、政策を決定し議会に提案するところが「自治体における意見の集約」という意味での地方自治の基本的な在り方、それがなされていない。住民はそれを理屈ではなく直感で解っておられるから、存続の請願書が提

出されている。

町長 今回の火葬場存続の住民の考えは、私自身も充分理解している。住民からアンケートを取らなかつたのは、誘導的になってはいけなかつたからである。報告会の中で「税金を有効に使って下さい」という意見もあつた。

質問 火葬場移転は町

の経済にとつても大打撃となる。距離が遠く不便。弁当、仕出し、紙一枚、封筒一枚から他町村で購入することになりかねない。住民負担に直結。新設の坪単価が132万円と高いと言いつつ、その一方で本当に高いのかどうか見極めることには熱心でない。地元業者を使えば安くなるはず、



免田火葬場天翔苑遠望

在する。本当に補助も起債もないのか、町の説明には疑問の残る点が多くある。火葬場はみんながお世話になる施設ではないのか。

町長 我々は広域行政

組合に尋ね、その回答から免田火葬場加入という判断をしている。町の収入が増収が望めない状況である以上、財政面から考えた時に、抽象的になるけれども、総合的に考えた時に、免田加入という判断を下したということである。



吉瀬浩一郎議員

Q 「にこまる」の栽培拡大は

A JAと連携し推進する

皆越秋廣議員



松崎農林課長 昨年一

等米比率は98%と非常

に高く、食味において

も「米食味分析鑑定コ

ンクール国際大会で

「特別優秀賞」を受賞

し、熊本県下の中でも

一番良いという評価が

出ているが、過去3ヶ

年間の作付面積等は、

晩生で葉がたれ葉にな

り、除草対策が困難で

質問 暑い気温の九州に
適した高温に強い水
稲品種「にこまる」の
食味はつやが良く、粘
りが強いのが特徴であ
る。「にこまる」の栽
培拡大の考えはないか。



去年の作付「にこまる」

いもち病にもやや弱く、
県の奨励品種にもなっ
ていない等の理由で伸
びない状況である。今
後は栽培歴をつくり、
JAと連携しながら推
進していきたい。

Q 「青年就農給付金」事業への取り組みは

A 後継者対策として取り組む

質問 平成24年度新規

就農者に対する国の助

成制度「新規就農総合

支援事業」で担い手支

援の「青年就農給付金」

について、就農希望者

に高い関心があると聞

いているが、本町で取

り組む考えはあるか。

Q 住宅リフォームの発展を

A 先ずは3年間の検証をしたい

質問 住宅リフォーム

助成制度は、県内で一

番早く実施され好評だ

が、新築まで含めた制

度として発展させては

どうか。

町長 今回の緊急経済

対策（住宅リフォーム

補助）によって、約

3,000万の補助で約3億円近

くの経済効果を本町に

もたらしたということ

は、大いに重視するべ

きことではあるが、こ

Q 公立保育所の存続を

A 今後1年間をかけて検討

質問 政府は「新保育

システム」を導入し「総

合子ども園」の新設を

目指している。子ども

園では、3歳未満児の

受け入れを義務付けて

おらず、給食の外部委

託や、追加料金の徴収、

親の就労時間で園児ご

とに保育時間が決まる

等、これまでの保育制

度が崩壊してしまう。

営利目的の企業の参入

も認められる。保育が

危機にある中、直接住

民に奉仕し、住民の要

求を保育行政に活かす

役割を持つている公立

の事業は3カ年の緊急的
な事業としているので、
平成24年度をもつて一応
一区切りとし、また検
証をし、今後は多方面
に渡って検討していき
たいと思っている。

保育所は守るべきだ
と思うが、どうお考えか。

町長 今回の「子ども

子育て新システム」は、

まだ全貌がよくわから

ないということだ。ま

た本町には、公立保育

所が2ヶ所、私立保育

所が3ヶ所、計5ヶ所

高橋裕子議員



Q 社会教育の方向について

A 自主運営システムが理想

松崎農林課長 国の新規事業で、農業後継者でない状況であり、全国で1万人程度が最終従事者であるため、農業従事者の目標を2万人

程度にするための施策である。本町においても、要件等が満たされる人には、年間150万円という給付金なので、当然後継者対策として取り組んでいく。

質問 生涯学習及び各種団体の今後の運営について、窓口を一体化して活動の利便性、活性化を図るべく協議が必要と思うがどうお考えか。またスポーツ人材育成についてどうお考えか。
宮本教育振興課長 生涯学習の今後の運営については、基本的には自主講座への移行として推進している。会計処理、事務的な部分当りも少しずつ自主講座へ導いていきたいと考えている。スポーツの人材育成は、必要かつ重要であると考えている。特に競技スポーツについては、学校間、指導者間の情報交流、スポー

★準備型
農業技術の研修中に国が定める要件を満たす方に最長2年間給付されます。
【年給付額】150万円

★経営開始型
農業を始めてから経営が安定する期間で国が定める要件を満たす方に最長5年間給付されます。
【年給付額】150万円

※詳しくは、農林課へお尋ね下さい。

ツフェスタ等の開催を含め、これまでの実績を踏まえて推進していくかなければと考えている。
町長 補助団体として多良木あいあいスポーツクラブがあるが、生涯学習、各種団体とも協議をしながら継続していただきたい。独立するまでにいろんな模索をし、方向性を決めて独立、運営していくというのが一番良いと思っている。町としても支援をしながら、住民の方の意識としては、自分たちで健康づくりや学習、補助に頼らずに運営していけるようなシステムができれば理想的であると思う。

の保育所を今後どのように運営していくのか、



久保田悦子議員

Q 介護予防事業について

A 高齢化対応に地域包括ケアを推進

将来的なことを含め、民間でできないところは公立で、民間でできるところは民間のサービスを利用した運営方法がベストだと思っている。今後1年間をかけて検討会を開き遂行

質問 現状に対する課題と計画について伺いたい。また町の活性化の一つの手段として、介護施設等の増設・町施設の有効活用による雇用拡大と定住促進は考えられないか。
前田健康保険課長 要介護認定者数は65歳以上の方が600名程で、認定率は19.9%程です。高齢化が進む中で課題は国・県の、できる限り住み慣れた家庭、地域で誇りをもって暮らせるようにという在宅



公立第1保育所

中心の介護推進をしているので、認知症、単身世帯にも対応可能な地域包括ケアを介護・医療・福祉間で情報交換しながら進めること、それと介護予防事業の取り組みだと考える。介護施設のまちづくりというところまでの計画はないが、地域密着型、小規模多機能施設、グループホーム等介護者のニーズに応じたきめ細やかな施設については推進していきたい。
町長 町としても計画的に進めているところであるが、提案にあった施設等の活用も図りながらやっていきたいと思う。県のモデル地域として、槻木地区の調査をしたが、報告を検討しながら町のあり方を考えているところである。



多良木町の介護施設

Q 町の借金をどう減らす

A 基準を設けながら予算の編成を



山中 馨議員

質問 今日本は借金まみれに陥り、政府もいろいろ政策を模索しているが、決め手を欠いている。それどころか国会も迷走を続けている中、多良木町も借金がひとところよりも減ったとはいえまだ高い水準にある。町長は安心して住みよい町作りを推進しながら、どのような政策と決断をもって町の借金を減らされる考えか。

町長 今後の目標として、歳出に占める公債費の割合を1割ぐらいに思っているが、それになるまでに起債を償

還額の半分ぐらいという形でいけば減ってくると思っている。やはり削減するだけでなく、1次産業とか活性化に向けては、削減したところを使っていくというようなことを行っていきたくないと思う。なるべく増えないようにしていきたい。年次によって、オーバーすることはあるかもしれない。そういう一つの基準を持ちながら行っていきたいと思う。突発的なことがない限り、基準を設けて予算の編成をし、執行にあたっていききたいと思っている。

の補助金の繰出しに町の負担が重くなる、くま川鉄道やバス路線の運営に、首長間でバス

Q 世代間交流施設の安全管理は

A 直ちに外向いて中止を命令

質問 新設される球磨川河川敷の世代間交流施設の安全管理は。上流に市房ダムがあり時々放流がなされる。その時はサイレンが鳴り河川敷から離れるよう放送される。その時点でゲームを中断し避難させるのか、そのままゲームを続けさせるのか、管理条例ではどう定められているのか。またその時点での町の

対応は。

宮本教育振興課長

使用及び管理に支障があると認められる場合については、行為をやめさせることができることになっている。防災上のダム事務所からの避難と、放流の情報が入れば必ず防災係の方が来るようになっていく。そちらの確認をして使用状況を確認させていただき、もし大

会等が運営されていれば直ちに外向いて中止を命令するというようになると思う。教育委員会の管理になっていくので、指導をしながら行っていききたいと考えている。



世代間交流施設

Q 地域公共交通の体系づくりについて

A 本格的な論議で進んでいる

質問 奥球磨に観光客

を呼び込むため、各町村で施設の充実やイベントの強化がされている中、スマートインターチェンジの必要性から、設置運動の展開は。また将来にわたる広域で

の補助金の繰出しに町の負担が重くなる、くま川鉄道やバス路線の運営に、首長間でバス

の補助金の繰出しに町の負担が重くなる、くま川鉄道やバス路線の運営に、首長間でバス

村山 昇議員



質問 住民と行政の協力と連携による住民主

Q 町民総意によるまちづくりについて

A 広く住民の意見を聞くことを基本に

役のまちづくりの推進

地方分権一括法の施行はどのような成果と今後どのように活用し取

り組むか、地方税財源の拡充に三位一体改革は何をもたらしたか、町長の考えを伺いたい。

り組むか、地方税財源の拡充に三位一体改革は何をもたらしたか、町長の考えを伺いたい。

路線の見直しや、代替交通手段の検討はなされてきているのか。

田中総務課長 スマートインターチェンジは仮構想ながら図面まで出来ているので、市町村でもう一步押し進めていきたい。

町長 公共交通のくま川鉄道もバスも、補助金の繰出しに財政面で大変になっている。今までの立ち話的な談義でなく、本格的な論議で進んでいる。



多良木町鶴羽バス停

Q 計画されている光ケーブル・ブロードバンドの取り組みについて
A 住民に負担のかからないよう考えながら進めていきたい

質問 全ての町民に理解していただくための行政メリットと町民のメリットは、利用するオプションに町民の負担が重くならないか。

また、現在使用している防災無線に代わるシステムができるのか。

田中総務課長 行政メリットとして情報格差の是正や、将来的に健康管理や教育、また防災分野での行政サービスができる。町民側のメリットとして、新たなサービスや技術を迅速に供給してもらえ

町民の方々からの情報発信がスムーズにできる。オプションの利用によって金額は違うが、高齢者や家庭でパソコンを利用しない人達にどう繋げていくかが課題だ。

町長 住民に負担のかからないような状況を考えながら進めていきたい。



瀬崎哲弘議員

また、現在使用している防災無線に代わるシステムができるのか。

町民の方々からの情報発信がスムーズにできる。オプションの利用によって金額は違うが、高齢者や家庭でパソコンを利用しない人達にどう繋げていくかが課題だ。

町長 町民総意によるまちづくりについては、いろいろな委員会においても広く住民の意見を聞くことを基本に、自己責任、自己決定において、自分たちが主体の住民参加型で多良木町を一緒に創っていく意識でやると、地域、団体等、町全体が良くなると思う。地方分権

一括法の効果については、国の方針のようになっていない部分があり、自治体は業務は増えて財源が伴わないのが一番大変な状況である。ただ、パスポート、有害駆除等の申請が町で迅速に対応できる。三位一体改革がもたらしたことは、なかなか財

源の確保に先行きの見えない状態である、事業計画についても町民の求めるものを基準に計画をするよう指示している。自主財源確保については、農林業の所得向上を検討し、特産品のブランド化を推進していく。

Q 川辺川土地改良事業について
A 国営事業で水を届けたい

質問 休止中の国営川辺川土地改良事業(利水事業)に取り組む姿勢、必要性、今後の計画について町長の考えを伺いたい。

ある。事前協議にも何回か参加しており、利水事業の受益者負担等経費を考え、今も真摯に受け止めており、必要性は十分認識している。今後の計画については、国、県、六市町村と連絡協議、検討し

ながら厳しい状態であるが、国営事業で何十年も水を望んでおられる農家に対して、負担の少ない方法で水を届けていきたい。

町長 私としては、農家に是非安定した安い水を届けたい気持ちで

ある。事前協議にも何回か参加しており、利水事業の受益者負担等経費を考え、今も真摯に受け止めており、必要性は十分認識している。今後の計画については、国、県、六市町村と連絡協議、検討し



水を待っている果樹園

多良木町を担う未来の議員

去る2月29日水曜日、多良木小学校6年生児童を対象とした平成24年第一回多良木町子ども議会が開催されました。議長、質問議員ともに多良木小学校6年生児童が担当し、役場の各課の係長が答弁に立つという形式によるもので、6年生児童の目から見た多良木町への提案や要望が述べられ、大人でも気付かない視点が新鮮で、内容のある大変充実した質問が多く寄せられました。

議長尾方舞香さんの開会宣言のあと、右田和万君から「将来の多良木町を担うこどもたちが、自分の町の姿を良く見つめ、快適で住みよい町づくりのため、町に対するこども達の夢や希望を提言し、こどもの町政に対する関心を高めることです」という、こども議会の趣旨説明が行なわれました。

＜えびす祭りに大物ゲストを＞

質問：権頭奨來君・若杉一平君

多良木町を元気にするためにえびす祭りに大物ゲストを呼んだらどうでしょう。

答弁：企画観光課岡本係長

かつて、日本の景気が良かった頃は、貯金の利息でイベントの資金を賄えました。しかし、現在のようないま不況の中では大変難しいので、祭りの日と土曜、日曜が重なる年に大きなイベントを開催するということにしたらどうかと考えています。今年がちょうど土日祭りと重なります。

＜町に木を植える提案＞

質問：川口勝仁君

地球温暖化による生物絶滅を危惧しています。二酸化炭素は温暖化の原因の6割を占めています。二酸化炭素を吸収し酸素を作り出す木を植えることを町にお願いします。

答弁：農林課水田係長

多良木町の森林面積は13,400haで、町の約80%が森林です。二酸化炭素を減らすために毎年150haの間伐を行っています。間伐を行うことにより20~30%程度二酸化炭素の吸収率が良くなりますので、毎年計画的に間伐を行っていきます。

答弁：町民福祉課吉永係長

日常生活の中でできる温暖化対策の中には自動車のアイドリングをやめる。冷暖房の使用を控えるなどがあります。

＜町に公園を作って＞

質問：福本七香さん・平野亜実さん

外で元気に遊びたい。待ち合わせの場所として利用したい。ということから、多良木町に公園をつくってもらえませんか。

答弁：企画観光課岡本係長

多良木町には宇宙ランドや田代ヶ丘公園、桜づつみ公園があり、身近なところでは、公民館や集落センター、学校の運動場などがありますのでこれらを充分に利用すると良いのではないのでしょうか。

＜LED街灯設置を＞

質問：竹下佳汰君・中神彰仁君

町からはなれた場所に、青い光のLED街灯をつけてほしい。6年生へのアンケートでは里の城橋近くの道や1区の2の溝の近くにつけてほしいとの希望がありました。

答弁：総務課椎葉係長

多良木町には現在1,284基の街灯・防犯灯がありますが区長さんから要望書の提出があれば現地を見て検討します。

＜通学路に柵を＞

質問：澤上よし乃さん・刈田穂果さん

登下校中に柵の無い溝があります。自転車に乗った子供が溝に落ちてケガをしているのを見た事があります。低学年の子が溝を覗いているためとても危ないので、子供の背丈よりも高い柵をつけてもらえませんか。

答弁：環境整備課片山係長

現場を確認してきましたが、この場所は駅前交差点を工事する時に、安全に登下校できるようにする予定です。工事が終わるまでしばらくかかりますので、指摘された箇所については何らかの対応策を考えたいと思います。

＜団地や公園にごみ箱の設置を＞

質問：三浦恵史君・執柄翔輝君

ニュータウン赤坂と宇宙ランド近くの歩道に、ごみ箱を設置してほしい。ごみ捨て注意の看板を立ててほしい。

答弁：企画観光課岡本係長

ニュータウン赤坂には地元の方と相談して、ポイ捨て禁止の看板を設置したい。

答弁：教育振興課大石係長

公共施設にごみ箱を設置していないのは、ゴミは基本的に持ち帰りをお願いしていること、また、来た時よりも美しくという気持ちで、ゴミは捨てないように、これからもお願いしていきたいです。

＜毎月イベント開催を＞

質問：上通華さん・善真悠さん

多良木町を元気にするために、キーホルダー作りや、クリスマスには、キャンドル作りなど、毎月イベントを開催してほしい。開催することで町外からも町に来てくれる人が増え、町全体が明るくなると思います。

答弁：企画観光課岡本係長

地域住民の交流と町の活性化を目的として交流館石倉と、えびす広場を整備しています。会議や研修会、コンサート、パーティーなどいろいろなイベントに使われていますので、宿泊施設ブルートレインたらぎとあわせて、学年の行事や子供会の行事などに、ぜひ利用してください。

＜通学路に信号とカーブミラーを＞

質問：安藤萌さん・松岡椎奈さん

学校への登下校中に危険な箇所がたくさんあります。信号やカーブミラーを取り付けてほしい。私たちも登下校中は事故などに充分気を付けたいと思います。

答弁：総務課椎葉係長

カーブミラーの設置は、区長さんからの要請を受けて現地を確認の上対応しています。また、信号については、多良木警察との協議が必要ですので、危険箇所については町から警察へ要望しているところです。今後も協議を進め、安心して安全な町づくりに努めたいと思います。

＜危険箇所に柵の設置を＞

質問：尾方真生さん・富田彩悠さん

わたしたちは百太郎溝沿いに登校しますが、柵がないので落ちそうになった人が何人もいました。安心して登校できるように柵をもうけてほしい。また、百太郎公園の階段で滑り落ちそうになったのでここにも柵をお願いします。

答弁：環境整備課片山係長

場所を確認しましたので百太郎溝には柵をつけるようにします。公園は国土交通省の管理ですが、コケで足が滑らないように掃除をしたいと思います。

＜理科室と家庭科室に換気扇を＞

質問：坂口舞さん・寺田七海さん

理科室、家庭科室などは、しつかり換気をしないとカビやダニが発生したり学習で火を使うときに有毒ガスの発生が心配です。現在は、理科室、家庭科室の換気扇がそれぞれ2個しかありませんので換気扇を増やしてもらえませんか。

答弁：教育振興課信國係長

学校の建物は建築基準法に則って建てられています。その中で、目のかゆみの原因となる化学物質や、室内で火を使う場合など、換気設備の基準についても決められており、1時間あたりの換気量も定められています。多良木小学校の場合、換気を含めこれら全ての基準を満たしていますが、換気の状態が悪いということでしたら学校と協議して検討したいと思います。

子ども議会を終えて

6年2組 尾方 舞香

私はこの子ども議会に向けて自分の願いが届くように、本、インターネットなどさまざまな方法で調べてきました。当日は、前日の練習の成果が発揮できるように頑張ろうと思っていました。議場に入る前とても緊張しました。私は議長でとても大切な役を任せられていることを議場に入って改めて感じました。一番初めの言葉「全員起立」の言葉はふるえそうになりながら言いました。その言葉の後、深呼吸をして「もう大丈夫」と心の中で強く言いました。その後もう一生懸命頑張りました。途中一つ話すことを飛ばしそうになりましたが、自分でしっかり確かめて失敗することなく終わりました。終わった後、自然に笑顔になれたし、心がすっーとしてほっとしました。それはたぶん、自分の中で大きな達成感があったんだと思います。その時初めて「議長をやった良かった」と思うことができました。練習では「議長やめたい」と思っていたけど、やり終わって自分が変わったような気がしました。だからこれからはこの達成感を忘れずに、自分から積極的に何でも挑戦したいなと思いました。役場のみなさんありがとうございました。



* 4つの行いについて *

この他に、多良木小学校で現在行っている「さわやかなあいさつをする」「人の話をしっかりと聞く」「きめられた時間を守る」「そうじをだまてがんばる」という「4つの行い」について松本町長、久保田副町長、溝口教育町からそれぞれ「このような行いは、とてもすばらしいことです。みんなと仲良くするためにも、社会に出たときにも必要なことです。とても良いことなので、これからも先生の言われることを良く聞いて、継続して行ってください。」との所感が述べられました。

ここで井上結希さんから「本日の日程はすべて終了しました」との閉会宣言があり、子ども議会が終了しました。（この他にもいろいろな方からの発言がありましたが、編集の都合上割愛させていただきました。どうかご了承いただきたいと思います。）

議会全員協議会

協議事項

平成24年2月7日（火）

- ① 光ブロードバンド整備（エリア拡大）について
 - ② 川辺利水事業について
 - ③ 火葬場の件について
 - ④ 上水道事業（水道料金）について
 - ⑤ 喫煙所設置について
- その他
- 1、熊本県排水設備工事責任技術者一括登録制度について
 - 2、多良木町乳用牛導入事業について
 - 3、非常勤職員の募集について
 - 4、特別徴収のお願いについて

平成24年3月8日（木）

- ① 公立多良木病院について



規木集落調査現地報告

平成24年3月29日（木）

- ① 規木夢ビジョンづくり事業の概要説明及び発表者の紹介
 - ② 規木夢ビジョンづくり事業報告会
- その他
- 1、映画「母しやんの子守唄」について

議会運営委員会視察研修報告

研修先 鹿児島県さつま町
平成24年2月9日

参加者 森下委員長、山中副委員長
中村委員、久保田委員
吉瀬委員、高橋委員
鍋田議長、瀬崎副議長

研修事項

- (1) さつま町議会の概要について
- (2) 議会活性化の取り組み状況について

各項目で事項説明を受け、今実施されている内容は

- ・ 常任委員会代表質問の実施（回数年3回程度）
- ・ 各種団体との意見交換会の実施
- ・ インターネット中継（本会議）
- ・ 会議録の公開（ホームページ）
- ・ 各議員・グループによる地域集落に報告会
- ・ 議会基本条例の制定

議会制度活性化小委員会に於いては

- ・ 委員会の在り方・議会の在り方（本会議・執行部との関係）
- ・ 議員の資質向上・議会と住民・議員の定数と報酬

現状と課題をどうしていくべきか検討

本町としても町民に開かれた議会活動を目指します。

- (1) 町民の皆様には日頃の議会の活動状況を知っていただきたく。
- (2) 町民の皆様のご意見やご提言を直接お聞きし、議会審議への活用や議会運営の改善を図る。

議会報告会の開催に力点を置き、直接町民の皆様の方へ出向き報告します。

- (1) 現況の課題や審議状況等町の動きについて報告。
- (2) 地域の現状や課題について意見交換



今後もより一層皆様に身近でわかりやすい内容で議会に関心を持っていただけるよう頑張ります。よろしくお願いたします。

（瀬崎）

己の信念を貫かれたお姿を偲び

去る3月11日にご逝去されました故福島典生議員に謹んで追悼の言葉を申し上げます。

私達が最後にあなたにお目にかかったのは、多良木中学校卒業式の会場でした。その時のご様子は、特に変わった所は見受けられず、式終了後に用事があるということでお忙しそうにされていた印象が残っております。あれからすぐに旅立たれるとは信じられない思いです。享年62歳という早過ぎる前途有為なあなたの急逝は、哀惜の情まことに切なるものがございます。



福島典生議員は、平成19年7月に多良木町議会議員に当選され、連続2期、4年9ヵ月の間、町議会議員として大いにご活躍をいただきました。自らはNTT電報配達所に勤務され、町議会においては、経済建設常任委員会、広報調査対策特別委員会等に所属され、これからより一層、その力量を遺憾なく発揮されようという矢先のご逝去は誠に残念の極みであり、万感胸に迫るものがございます。

町議会議員へ挑んだ初心を忘れずに、決して安易に妥協せず、己の信念を最後まで貫かれた、あなたの議員活動に邁進するお姿を拝見できなくなることは誠に寂しい限りであります。

残された我々議員一同はあなたの意志を引き継ぎ、町政の発展と住民福祉の向上に、今まで以上に献身する所存でございます。

今は亡き、故福島典生議員のご冥福を心からお祈り申し上げ、ご遺族の前途に限りなきご加護と本町のさらなる発展、平安をお守りいただきますよう念じますとともに、安らかなるお眠りをご祈念申し上げ、追悼の言葉といたします。

“地域医療の拠点を守ろう！”

上球磨(4町村)町村議会議員研修会開催

上球磨(多良木町・あさぎり町・湯前町・水上村)正副議長会主催の研修会が2月28日(火)、公立多良木病院講堂において開催されました。



熱気あふれる研修風景

兵庫県丹波新聞社編集部記者、足立智和氏による「地域医療を守るのは一人ひとりの心がけ」の演題で、医師不足の病院を地域でどう支えていくか、医療体制をどう考えるかは、地域住民の皆さんの病院という認識を持ち、住民を守ってくれる人を地域住民で守るという心がけが必要であると話されました。

(村山)



黒肥地脇地区の八重桜

球磨郡公立多良木病院企業団 (一部事務組合シリーズ③)

球磨郡公立多良木病院企業団は、多良木町・あさぎり町・湯前町・水上村により設立された自治体病院です。

病院長は企業団の企業長として病院の経営及び管理運営を行ないます。

基本理念

地域中核病院としての質の高い包括的医療を提供することにより、住民の皆様へ信頼される病院を目指します。

基本方針

地域住民の健康増進・患者中心の納得診療
地域に開かれた病院・へき地医療を充実
24時間救急体制・健全経営

開業医の先生方と協力（病診連携事業）し、地域医療の充実をめざしています。また講師を招き、共同で講演会の開催も行ないます。



病院増改築で医療環境（入院環境）が良くなり、入院病棟が充実しています。しかし現在は極端な医師不足の時代です。先生方も長時間勤務に耐え、本当によく頑張っておられます。

球磨郡公立多良木病院企業団は、熊本県から、へき地医療支援機構事務局を委託され、槻木診療所・古屋敷診療所などにも出向いています。また、他の県内へき地診療所や、隣接する宮崎県の西米良村の診療所にも医師を派遣することがあります。西米良村や椎葉村など県外からの患者さんの診療も行なっています。



MRI

【球磨郡公立多良木病院企業団議会議員：山中 馨、皆越秋廣、吉瀬浩一郎、中村正徳、魚住憲一】

編集後記

桜も終わり新緑が芽吹く時期になり、ピカピカのランドセルを背負った新1年生の楽しそうな笑顔に出会うと、一年の季節の早さを感じずにはいられません。

昨年の3月11日の東日本大震災は、地震と津波により、被害の規模は多くの人々を震撼させました。この地震の死者は15,854人、今なお不明者が3,155人、さらに被害者を脅かしたのが福島第一原発による放射能汚染でありました。事故から一年が過ぎましたが、今だ被災された人々の心は癒しきれないのが現状ではないでしょうか。また生活の場でもある被災地の復興も遅れています。被災者の皆様が一日も早く元気が取り戻せるよう、一刻も早く復興ができるように願いたいものです。また私たちも天災とはいえ、この震災を我が身におきかえ教訓にしたいと思えます。

最後に議会だより「こだま」が少しでも多くの町民の皆様方に読んでいただけるよう、委員みなんで試行錯誤しながら広報誌を作りたいと思います。
(魚住)

広報特別委員会構成

- ◎ 瀬崎 哲弘
- ◎ 坂口 幸法
- ◎ 吉瀬浩一郎
- ◎ 魚住 憲一
- ◎ 村山 昇
- ◎ 高橋 裕子